

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホーム 誉ヶ丘

作成日：平成22年 1月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム方針や介護理念は掲示及び名札を持参し、共有化を図っているが、職員間に理解や認識の違いが見られている。特に、新人職員への教育を早期に実施することが必要である。	管理者、職員が同じ認識の下で、理念の共有化を図り、入所者へのケアに活かしていく。	1. 新人教育を充実させ、早い時期に認識を高めていく。 2. 毎月の学習会を利用して、振り返りや再認識する時間を設けていく。	6ヶ月
2	4	2ヵ月毎に1回開催しているが、テーマの選択が難しくなっている。	1. 一人でも多くの家族の参加が得られる。 2. 家族の要望に沿った話し合いができる。	1. メンバーの意見を集約して、新年度にてテーマを選択する。 2. 家族の要望・意見に迅速に対応し、話し合いの機会を作る。	3ヶ月
3	10	利用者・家族等からの意見や・要望及び苦情等がなかなか出てこない。	利用者・家族を対象に、全員より意見や要望を聞く機会を作る。	1. 運営推進会議や面会時を利用し、意見や要望等の有無を確認し記録する。 2. 面会や訪問が少ない家族に対しては、電話や連絡物等にて確認する。 3. 意見箱、苦情窓口の有効活用を図っていく。	6ヶ月
4	35	避難訓練は年2回実施しており、消防整備の設置もできているが、非常食の備蓄や防寒対策等の対応を充実させる必要がある。	非常食や防寒着及び飲料水等の備蓄により、非常時の災害に備える。	1. 缶詰、乾パン及び飲料水等の確保をする。 2. 防寒具、おむつ等の確保をする。 3. 保管場所を設け、定期的なチェックを実施する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。